

大学名： 東海大学教養学部

ASPUnivNet の 4 つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	● 山梨県立吉田高等学校、星槎大学付属高等学校からの相談について、オンラインにて相談に応じた。
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	● 森のようちえん めーぶるキッズ、川崎市立平間小学校、川崎市立橘高等学校、横浜市立みなとみらい本町小学校、横浜女学院中・高等学校、鎌倉女子大学付属中・高等学校に対して、相談に応じた。
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	● ACCU のユネスコスクール優良事例調査に協力、横浜市立東高等学校と湘南学園の取り組み調査をする際、「質の向上」の観点から、特に評価できる点について確認することができた。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	● 横浜女学院高等学校の2年次生に対して、SDGs の探究学習の進め方、研究論文のまとめ方について、出前授業を行った。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	● 川崎市立新城小学校の教員研修開催について、川崎市立平間小学校の紹介・取り組み事例についての意見交換会を実施した。 ● 東京賢治シュタイナー学校（ユネスコスクール加盟校）及び北海道シュタイナー学園いずみの学校（加盟校）の高校生 21 名と教員 2 名を本学の湘南キャンパスに迎え、ユネスコの提唱する「包括的セクシュアリティ教育」について、大学生とともに学び、話し合うワークショップを実施した。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	● 横浜女学院高等学校において、地域の商店街（元町商店街）や商店街にある「マザーハウス」と連携したプログラム開発について大学での取り組み紹介からアドバイス、それをもとに商店街と連携した地域づくりやソーシャルアクションの進め方を生徒が主体的に進める教育実践が展開された。 ● かながわユネスコスクール・ネットワーク（KAN）と協力して、ユネスコの提唱する「包括的セクシュアリティ教育」について紹介するインフォグラフィックを作成した。
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	● 付属高校（相模・甲府）へ SDGs に関連する出前授業や教職員研修を提供するなかで、ESD とユネスコスクールについて説明した。

	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	● かながわユネスコスクール・ネットワーク（神奈川県内のユネスコスクールが作るネットワーク、略称KAN）の運営を助け、学校間の交流をはかるミーティングの開催に協力した。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。（例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など）	● 横浜女学院高等学校の高校生が、「マザーハウス」の新規事業「フェアトレードチョコ」生産について調査し、カカオの生産地であるインドネシアで活動する関係者とオンラインでつなぎ、ソーシャルビジネスの現状について主体的に学んだ。 ● 横浜シュタイナー学園と京田辺シュタイナー学校（どちらもユネスコスクール加盟校）と協力して、海外のシュタイナー学校でユネスコスクールに加盟する学校とのネットワークを作ってきたが、教員や運営者、保護者の参加するオンライン勉強会（英語使用）を4回開催した。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	● 教養学部でのFD研修会で講師をつとめ、ユネスコスクールの歴史とMDGsおよびSDGsとの関係について説明した。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	● 全学教養科目においてESD・SDGsを基盤としたシティズンシップ教育を展開した。 ● 教養学部の学部共通科目において、ユネスコの理念やSDGs達成に向けたユネスコスクールの役割について解説する教育を行った。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	● ACCUのユネスコスクール優良事例調査に協力、横浜市立東高等学校と湘南学園の取り組みについてまとめ、提出した。
	4. 自由記述	● 大学として「カーボンニュートラル達成に向けた大学等コアリション」に参加し、「人材育成WG」の幹事校として、ESD・SDGsを軸とした教育開発と大学間連携を進めている。 ● 国連大学SDG連携プラットフォームに参加し、大学間連携によるSDGs授業開発をおこなった。